

ひみつのはなし

くぎになったソロモン

ウィリアム・スタイグ 作 おがわ えつこ 訳 らんか社 Eース

子ウサギのソロモンに、ある日、ふしぎなことがおこります。鼻のあたまをこすっていると、からだがかたくなり、くぎに変身してしまったのです。でも、「ぼくはうさぎだ!」とさけぶともとのすがたにもどりました。ソロモンはれんしゅうして、くぎになったり、うさぎになったり自由自在にできるようになりましたが、みんなにはひみつにしておくことにします。

かさどろぼう

シビル・ウェッタシンハ 作・絵 いのくま ようこ 訳 徳間書店 Eーウ

むかし、スリランカのちいさなむらのひとたちは、かさをみたことがありませんでした。あるひ、このむらにすむキリ・ママというおじさんがまちにでかけ、はじめてかさをみます。おじさんは「なんて、きれいでべんりなものだろう」とおもい、かさをかってかえりました。でも、ひるまにみんなをびっくりさせようとおもって、コーヒーをのんでいるあいだかくしていると、かさがなくなってしまいました。

ひみつのもり

ジーニー・ベイカー 作 さくま ゆみこ 訳 光村教育図書 Eーベ

ベンはさかなをとるのがすきです。わなのかごをうみにしずめていると、なにかにひっかかってあがってこなくなりました。そこで、ベンはもぐるのがじょうずなソフィーにたのみいっしょにうみにもぐります。はじめてうみにもぐったベンは、うみのなかのふしぎなもりをみてびっくりしました。

おへそのひみつ

やぎゅう げんいちろう さく 福音館書店 Eーヤ

きみたちのおなかにはちゃんとおへそがありますか? 「の」のじになっていたり、まるかったり、たてながだったり、おへそはいろいろなかたちをしています。では、「おへそ」って、なんでしょう。ぼくたちはおかあさんのおなかにいたとき、ながーいおへそでおかあさんにつながって、「さんそ」や「えいようぶん」をもらっていたのです。

クローディアの秘密

E. L. カニグズバーグ 作 松永 ふみ子 訳 岩波書店 933-カ

クローディアは11歳、四人兄弟のいちばん上です。家の中での不公平な待遇や、まいにち同じことのくりかえしにあきあきして、弟の一人ジェイミーを仲間にえらび、家出の計画をたてました。家出する先はニューヨーク市のメトロポリタンミュージアムです。二人はひそかに計画をすすめます。

なないろ山のひみつ

征矢 かおる 作 福音館書店 913-ソ

あるひ、さちは、なないろ山のとっぺんがあかくひかっているのをみて、いそいで山にあるおばあちゃんのうちにいきました。すると、おばあちゃんは山がたいへんなことになっている、そして、山にはたいせつなひみつがあるけれど、いまははなせないといひます。さちは、おばあちゃんにたのまれ、かわりに山のじいさんぎつねにあいにいひます。

風にのってきたメアリー・ポピンズ

P. L. トラヴァース 作 林 容吉 訳 岩波書店 933-ト

桜町通りにあるバンクスさんの家には子どもが四人いて、せわをする人をさがしていました。そこへ、メアリー・ポピンズがやってきて、子どもたちのめんどろをみることになりました。メアリー・ポピンズはちょっと変わっていて、彼女がきてから、バンクス家の子どもたちのまわりでは、ふしぎなことがおこります。